

2016年5月③591号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp>

今週の活動から

市民福祉常任委員会は5月10・11日、島根県出雲市に視察に行きました。

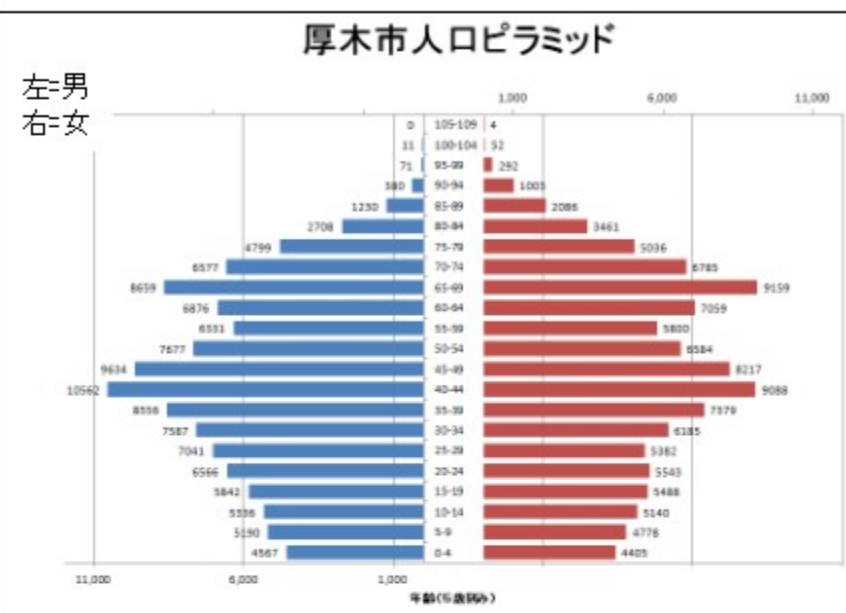


「認知症対策」「老老介護支援対策」についてです。介護保険の対象外の家事援助などの利用券を配

布しています。(中央右奥：釘丸久子議員)
都市経済常任委員会は5月9・10日に兵庫県豊岡市を視察しました。「着地型観光の取組みについて」です。市役所で説明を聞いた後、現地視察は城崎温泉と国際アートセンター。2日目は豊岡市立コウノトリ文化館で「環境・文化を学びました」。(下：栗山香代子議員)



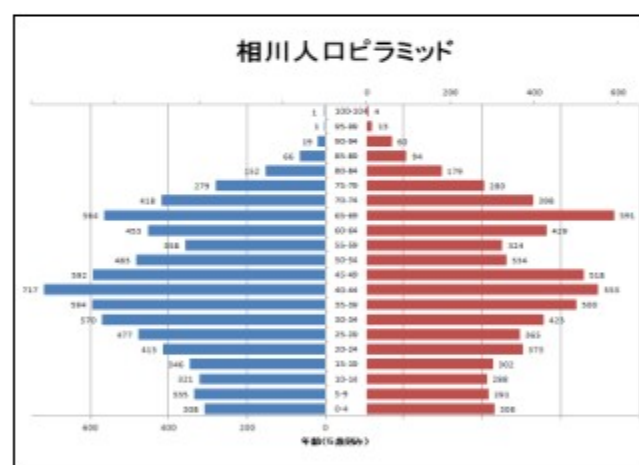
地域別人口ピラミッドから見えてくるものは…



全国的に少子高齢化が言われていますが、厚木市はどうでしょうか。平成27年10月1日現在で高齢化率は22・77%です。厚木市は人口減少をくい止める、将来にわたって活力あるまちの礎を築くとして、「人口ビジョン・総合戦略」を今年3月に策定しました。

現在の厚木市の年代別の人口構成(ピラミッド)は左のグラフとおりです。古くからずんずん住民が多い相川地域は全市の人口構成とほぼ同じです。しかし、地域により人口構成は大きく異なります。

高齢化率を地域別にみると、40年前に開発された毛利台地域は45・22%、鳶尾地域は35・78%です。一方、市内で一番新しい開発団地であるみはる野



地域は高齢化率8・33%。40歳代とその子どもたちが多くいます。毛利台や鳶尾、緑ヶ丘もみはる野と同じような開発団地ですが、現状は地域差があります。その地域の状況と変化の要因を考え、数十年先を見越した対策を講じなければなりません。

あなたの地域はどうですか。

